

# 社会福祉法人青森県社会福祉協議会 福祉サービス第三者評価自己評価報告書(保育所版)

## 令和4年度

### I 福祉サービスの基本方針と組織

#### I-1 理念・基本方針

組 氏名

##### I-1-1 (1) 理念・基本方針が確立・周知されている。

	a	b	c	だれの問題か				bやCにした理由と改善できる点や改善方法
				個人	クラス	担当	全体	
I-1-1(1)-① 理念、基本方針が明文化され周知が図られている	○ 30							HPやパンフレット、掲示、職員朝礼、会議、入園式等で周知を図っている。

#### I-2 経営状況の把握

##### I-2-1 (1) 経営環境の変化等に適切に対応している。

	a	b	c	個人	クラス	担当	全体	
I-2-1(1)-② 経営課題を明確にし、具体的な取り組みを進めている。	○ 30							
合計	I-2経営状況の把握 3細目中 計			3	0	0		

#### I-3 事業計画の策定

##### I-3-1 (1) 中・長期的なビジョンと計画が明確にされている。

	a	b	c	個人	クラス	担当	全体	
I-3-1(1)-② 中・長期計画を踏まえた単年度の計画が策定されている。	○ 30							

##### I-3-2 (2) 事業計画が適切に策定されている。

	a	b	c	個人	クラス	担当	全体	
I-3-2(2)-② 事業計画は、保護者等に周知され、理解を促している。	○ 30							入園・進級式後の保護者への周知やおたよりでお知らせしている。
合計	I-3事業計画の策定 4細目中 合計			4	0	0		

## I-4 福祉サービスの質の向上への組織的・計画的な取組

I-4-(1) 質の向上に向けた取組が組織的・計画的に行われている。

		a	b	c	個人	クラス	担当	全体	
1-4-(1)-①	保育の質の向上に向けた取組が組織的に行われ、機能している。	○							外部研修、園内研修、委員会活動、自己評価、保護者アンケート(第三者評価、認証制度)を実施。保育はPDCAサイクルで組織的に行われている。
		○						○	倫理・法令順守遵守委員会によるセルフチェックや、虐待の説明等、定期的な働きかけあり。また、子供への接し方では、やってはいけないこと、正しい対応が明確にされている。
									子どもを主体とした保育を考え、みそ作り、干し柿作り等、新しい保育に取り組んだ。
I-4-(1)-②	評価結果にもとづき保育所として取組むべき課題を明確にし、計画的な改善策を実施している。	○							自己評価の取りまとめたもの、外部評価の結果を職員に周知。
合計	I-4 福祉サービスの質の向上への組織的・計画的な取組 2細目中 合計	2	0	0					
合計	領域 I 全9細目中 合計	9	0	0					

## II 組織の運営管理

## II-1 管理者の責任とリーダーシップ

II-1-(1) 管理者の責任が明確にされている。

		a	b	c	個人	クラス	担当	全体	
II-1-(1)-①	施設長は、自らの役割と責任を職員に対して表明し理解を図っている。	○							組織表で周知。責任と判断の役割、手順を明確に示している。
II-1-(1)-②	遵守すべき法令等を正しく理解するための取組を行っている。	○							

II-1-(2) 管理者のリーダーシップが発揮されている。

		a	b	c	個人	クラス	担当	全体	
II-1-(2)-①	保育の質の向上に意欲をもちその取組に指導力を発揮している。	○							SVや会議などを通して、上司からのアドバイスのもと、個々の目標を定め、保育に生かされるよう取り組んでいる。
II-1-(2)-②	経営の改善や業務の実効性を高める取組に指導力を発揮している。	○							
合計	II-1 管理者の責任とリーダーシップ 4細目 合計	4	0	0					

## II-2 福祉人材の確保・育成

II-2-(1) 福祉人材の確保・育成計画、人事管理の体制が整備されている。

					個人	クラス	担当	全体	
II-2-(1)-①	必要な福祉人材の確保・定着等に関する具体的な計画が確立し、取組が実施されている。	○							人事計画あり
II-2-(1)-②	総合的な人事管理が行われている。	○							

II-2-(2) 職員の就業状況に配慮がなされている。

		a	b	c	個人	クラス	担当	全体	
II-2-(2)-①	職員の就業状況や意向を把握し、働きやすい職場づくりに取り組んでいる。	○	○						休憩時間確保のためのマニュアルを活用し、各クラスで確認、共有している。

											○	○	コロナ流行により体調確認の連絡等、事務作業が増加し、日中の事務作業時間確保が難しいため、ノー残業デーの実施よりも土曜日に効率よく仕事を進められるようにしている。
--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	---	---	--

### II-2-(3) 職員の質の向上に向けた体制が確立されている。

		a	b	c	個人	クラス	担当	全体		
II-2-(3)-①	職員の一人ひとりの育成に向けた取組を行っている。	○							○	OJTが行われ、幹部は情報共有を行い、部下への適切な指導が入るようにアドバイスもされている。
II-2-(3)-②	職員の教育・研修に関する基本方針や計画が策定され、教育・研修が実施されている。	○								研修計画あり、様々な研修への参加の機会の確保
II-2-(3)-③	職員一人ひとりの教育・研修の機会が確保されている。	○								

### II-2-(4) 実習生等の福祉サービスに関わる専門職の研修・育成が適切に行われている。

		a	b	c	個人	クラス	担当	全体		
II-2-(4)-①	実習生等の保育に関わる専門職の研修・育成について体制を整備し、積極的な取組をしている。	○								・実習生の対応マニュアルが作成されている。 ・その日受け入れの担任から具体的な指導(記録、保育内容、関わり方、ピアノ)ができるよう体制が整えられている。
合計	II-2人材の確保・養成 7細目中合計	7	1	0						

### II-3 運営の透明性の確保

#### II-3-(1) 運営の透明性を確保するための取組が行われている。

		a	b	c	個人	クラス	担当	全体		
II-3-(1)-①	運営の透明性を確保するための情報公開が行われている。	○								決算内容のHPへの公開、会計事務所、労務士事務所への委託により、専門家の介入、助言を得た運営を行っている。
II-3-(1)-②	公正かつ透明性の高い適正な経営・運営のための取組が行われている。	○								
合計	II-3 運営の透明性の確保 2細目中 計	2	0	0						

## II-4 地域との交流、地域貢献

## II-4- (1) 地域との関係が適切に確保されている。

	a	b	c	個人	クラス	担当	全体	
II-4- (1)-①	子どもと地域との交流を広げるための取組を行っている。	○						本来は地区の小学校等、毎年交流があるが、コロナで難しくなってきた。赤ちゃん食堂実施。
		○						小学校訪問、光葉園訪問(リモート)、消防署見学、ファミリーランド、おめでとう大会、運動会、夏祭り、避難訓練、地域への働きかけを積極的に行っている。
II-4- (1)-②	ボランティア等の受け入れに対する基本姿勢を明確にし体制を確立している。	○						受け入れ体制やマニュアルを整備している。運動会やファミリーランドは保育大学生のボランティアや中高生の保育ボランティアがある。(今年度はコロナの為実施されなかった)

## II-4- (2) 関係機関との連携が確保されている。

	a	b	c	個人	クラス	担当	全体	
II-4- (2)-①	保育所として必要な社会資源を明確にし、関係機関等との連携が適切に行われている。	○						
		○						市役所、児相、保健所、小学校、言葉の教室、嘱託医、小児科医院、警察署等 医療機関、消防、支援センター

## II-4- (3) 地域の福祉向上のための取組を行っている。

	a	b	c	個人	クラス	担当	全体	
II-4- (3)-①	地域の福祉ニーズ等を把握するための取り組みが行われている。	○						
		○						子育て支援センター、病後児保育、赤ちゃん食堂を開設している。ホームページや通信を通して積極的に発信している
II-4- (3)-②	地域の福祉ニーズ等にもとづく公益的な事業・活動が行われている。	○						一時預かり、休日保育、病後児保育、子育て支援センター(赤ちゃん食堂、離乳食体験)を実施している。
合計	II-4地域との交流、地域貢献 5細目中 計	5	0	0				
合計	領域II 18細目中 計	18	1	0				

## III 適切な福祉サービスの実施

## III-1 利用者本位の福祉サービス

## III-1- (1) 利用者を尊重する姿勢が明示されている。

	a	b	c	個人	クラス	担当	全体	
III-1- (1)-①	子どもを尊重した保育について共通の理解をもつための取組を行っている。	○						・倫理委員会があり、年2回USB等個人で持っているものの管理をしている。また、定期的にスタッフへの周知を行っている。 ・保育方針が明確にされ、朝礼で理念、方針、目標、年度の行動目標を唱えることで意識化されている。
				○私				普段使っている言葉が子どもを尊重するものではないと指導を受けた。OJTIに取り入れて改善中である。

(実施要綱・様式3)

Ⅲ-1-(1)-②	子どものプライバシー保護に配慮した保育が行われている。	○ 30							
-----------	-----------------------------	---------	--	--	--	--	--	--	--

Ⅲ-1-(2) 福祉サービスの提供に関する説明と同意(自己決定)が適切に行われている。

		a	b	c	個人	クラス	担当	全体	
Ⅲ-1-(2)-①	利用希望者に対して保育所選択に必要な情報を積極的に提供している。	○ 30							
Ⅲ-1-(2)-②	保育の開始・変更にあたり保護者等にわかりやすく説明している。	○ 30							重要事項説明書、契約書のHP掲載、事前の園見学
Ⅲ-1-(2)-③	保育所等の変更にあたり保育の継続性に配慮した対応を行っている。	○ 30							

Ⅲ-1-(3) 利用者満足の向上に努めている。

		a	b	c	個人	クラス	担当	全体	
Ⅲ-1-(3)-①	利用者満足の向上を目的とする仕組みを整備し、取組を行っている。	○ 30							2年に一度の保護者アンケート実施、苦情要望箱設置、第三者委員、閲覧書類

Ⅲ-1-(4) 利用者が意見等を述べやすい体制が確保されている。

		a	b	c	個人	クラス	担当	全体	
Ⅲ-1-(4)-①	苦情解決の仕組みが確立しており、周知・機能している。	○ 30							園だよりで件数、内容の周知
Ⅲ-1-(4)-②	保護者が相談や意見を述べやすい環境を整備し、保護者等に周知している。	○ 30							
Ⅲ-1-(4)-③	保護者からの相談や意見に対して、組織的かつ迅速に対応している。	○ 30							

Ⅲ-1-(5) 安心・安全な福祉サービスの提供のための組織的な取組が行われている。

		a	b	c	個人	クラス	担当	全体	
Ⅲ-1-(5)-①	安心・安全な福祉サービスの提供を目的とするリスクマネジメント体制が構築されている。	○ 30							・安全委員会を組織し事実確認、検証がされている(ヒヤリハット、事故報告書)訓練も定期的に取り入れている。 ・事故報告書、ヒヤリハット等で原因、改善、周知がなされている。
Ⅲ-1-(5)-②	感染症の予防や発生時における子どもの安全確保のための体制を整備し、取組を行っている。	○ 30						○	
Ⅲ-1-(5)-③	災害時における子どもの安全確保のための取組を組織的に行っている。	○ 30						○	ミサイル発射時のシュミレーションを新たに取り入れた。
合計	Ⅲ-1利用者本位の福祉サービス 12細目中計	12	1	0					

Ⅲ-2 福祉サービスの質の確保

Ⅲ-2-(1) 提供する福祉サービスの標準的な実施方法が確立している。

		a	b	c	個人	クラス	担当	全体	
Ⅲ-2-(1)-①	保育について標準的な実施方法が文書化され保育が提供されている。	○ 30							マニュアルは整備され各クラスに保管され、1年毎に見直しがされている。
Ⅲ-2-(1)-②	標準的な実施方法について見直しをする仕組みが確立している。	○ 30			○	○	○		衣類の履かせ間違いや、汚れもの入れ間違いが続いた。基本の手順が守られているか、定期的に確認や自己点検し、取り組んでいく必要がある。

Ⅲ-2-(2) 適切なアセスメントにより福祉サービス実施計画が策定されている。

		a	b	c	個人	クラス	担当	全体	

(実施要綱・様式3)

Ⅲ-2-(2)-①	アセスメントにもとづく指導計画を適切に作成している。	○ 30					○ に じ ほ し			現状把握をするにあたり、「～していない」「～できない」の否定で捉えている為、こんな場面でこうなる、という事実で捉え、支援を考える必要がある。
Ⅲ-2-(2)-②	定期的に指導計画の評価・見直しを行っている。	○ 30								年間指導計画、月間指導計画、個別支援計画

Ⅲ-2-(3) 福祉サービス実施の記録が適切に行われている。

		a	b	c	個人	クラス	担当	全体	
Ⅲ-2-(3)-①	子どもに関する保育の実施状況の記録が適切に行われ、職員間で共有化されている。	○ 30							
Ⅲ-2-(3)-②	子どもに関する記録の管理体制が確立している。	○ 30							
合計	Ⅲ-2福祉サービスの質の確保 6細目中 計	6	0						
合計	領域Ⅲ 18細目中 計	18	1	0					

## 福祉サービス内容評価

### A-1 保育内容

#### A-1-(1) 全体的な計画の作成

	a	b	c	個人	クラス	担当	全体
A-1-(1)-① 保育所の理念、保育の方針や目標に基づき、子どもの心身の発達や家庭及び地域の実態に応じて全体的な計画を作成している。	○ 30						

#### A-1-(2) 環境を通して行う保育、養護と教育の一体的展開

	a	b	c	個人	クラス	担当	全体
A-1-(2)-① 生活にふさわしい場として、子どもが心地よく過ごすことのできる環境を整備している。	○ 30						
	○						未満児クラスの発達に合わせ、未満児縦割りクラスを導入している。隣のクラスの保育への関心を高める為、未満児・以上児縦割り会議・モンテ会議・ケース会議を意識して取り組んでいる。
A-1-(2)-② 一人ひとりの子どもを受容し、子どもの状態に応じた保育を行っている。	○ 29	○ 1					
	○			○ 私を含めた人	○		○
		○		○			子供の気持ちの受け止めや、確かめの定着が必要なスタッフもいる。
A-1-(2)-③ 子どもが基本的な生活習慣を身につけることができる環境の整備、援助を行っている。	○ 30						
				○ 私含め			必要以上に手出し、口出しになっている時がある。個々の発達に合わせ、援助する必要がある。(移動時、手洗い、排泄時など)
A-1-(2)-④ 子どもが主体的に活動できる環境を整備し、子どもの生活と遊びを豊かにする保育を展開している。	○ 30			○	○		児の興味・関心・発達を捉えたお仕事の環境整備が遅れることがある。会議後の実施や準備の確かめを2週間に1回実施する必要がある。
	○				○ にじほし		モンテッソーリの環境整備では、会議を設け取り組んでいる。助言を受けながら取り組むことが多かった為、自分たちで考え計画を立て整備できるようにしていく必要がある。
	○						月に1回、モンテ会議を行い、助言や意見交換をし環境を整えている。
				○ 私			利用者に合わせたモンテッソーリの用具を取り入れていきたい。
A-1-(2)-⑤ 乳児保育(0歳児)において、養護と教育が一体的に展開されるよう適切な環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	○ 30						マニュアル化され整備されている。

子供の気持ちの想定を持ち、子どもに確かめ、共感していくことを習慣化していきましょう。

(実施要綱・様式3)

A-1-(2)-⑥	3歳未満児(1.2歳児)の保育において、養護と教育が一体的に展開がされるよう適切な環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	○	30								
A-1-(2)-⑦	3歳以上児の保育において、養護と教育が一体的に展開がされるよう適切な環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	○	29	○	1						
				○							国が定めた配置では、環境や保育内容に配慮したくても難しいと感じる場面がある。(保育士・子ども、求められる基本業務が変化している)
A-1-(2)-⑧	障害のある子どもが安心して生活できる環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	○	29	○	1						(説明内容) バリアフリーではないが、概ね集団生活可能な子どもが生活出来る環境ではある。
				○							○ 階段、トイレ等、身体に障害のある子への配慮は設備を改善しないと難しい部分もある。
											○ 環境は整備されている。子どもの躓きとスタッフ個人の目標設定を検討したチーム作りと継続的な支援力を高める必要がある。
A-1-(2)-⑨	それぞれの子どもの在園時間を考慮した環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	○	30								
A-1-(2)-⑩	小学校との連携、就学を見通した計画に基づく、保育の内容や方法、保護者との関わりに配慮している。	○	30								スタートアプローチプログラムあり
											湊小学校との連携をとり、学校見学の機会を設けている。また、就学する各小学校、校長との情報交換がなされている。

A-1-(3) 健康管理

		a	b	c	個人	クラス	担当	全体	
A-1-(3)-①	子どもの健康管理を適切に行っている。	○	30						ケガ含め担任止まりではなく、看護師、幹部職員への連絡が必要になっている。要注意する子のリストは、各部屋に掲示している。
									○ 体調不良児の対応についてマニュアルをもとに他クラスとも声を掛け合い、適切な対応を行っている。



## (実施要綱・様式3)

A-1-(3)-②	健康診断・歯科検診の結果を保育に反映している。	○	30								健康診断や歯科検診の結果はその日のうちにカードに記載し、保護者へ周知されている。また、園全体への情報は通信にて発信されている。また結果を保育に反映し歯磨き指導を取り入れている。
A-1-(3)-③	アレルギー疾患、慢性疾患等のある子どもについて、医師からの指示を受け適切な対応を行っている。	○	30								アレルギーガイドラインに準じて対応。

## A-1-(4) 食事

		a	b	c	個人	クラス	担当	全体	
A-1-(4)-①	食事を楽しむことができるよう工夫をしている。	○	30						給食会議でクラスの状況やメニューについて検討する機会があり、メニューに反映されている。
A-1-(4)-②	子どもがおいしく安心して食べることのできる食事を提供している。	○	30						行事食は皆で競技し、子どもが喜ぶ献立にしている。
									給食会議でクラスの状況やメニューについて検討する機会があり、メニューに反映されている。
合計	A-1 保育内容 16細目中 計	16	4	0					

## A-2 子育て支援

## A-2-(1) 家庭との緊密な連携

		a	b	c	個人	クラス	担当	全体	
A-2-(1)-①	子どもの生活を充実させるために、家庭との連携を行っている。	○	30						

## A-2-(2) 保護者等の支援

		a	b	c	個人	クラス	担当	全体	
A-2-(2)-①	保護者が安心して子育てができるよう支援を行っている。	○	30						2ヶ月ごとに担任との面談を実施している。事前に尋ねたいことも理解した上で面談を行っている。ケース会議で気になる子どもは継続して確認している。
A-2-(2)-②	家庭での虐待等権利侵害の疑いのある子どもの早期発見・早期対応及び虐待の予防に努めている。	○	30						
		○							クラスで虐待の疑いや家庭環境で気になることがある場合、上司にあげ、各関係機関へ連絡を取るシステムが確立されている。 ・倫理・法令委員会が年に2回セルフチェックを行い、虐待予防に努めている。
合計	A-2 子育て支援 3細目中 計	3	0	0					

A-3 保育の質の向上

A-3-(1) 保育実践の振り返り(保育士等の自己評価)

		a	b	c	個人	クラス	担当	全体	
A-1-(3)-①	保育士等が主体的に保育実践の振り返り(自己評価)を行い、保育実践の改善や専門性の向上に努めている。	○ 29	○ 1						主体的な参加が自分の考えを伝え、他者の意見も尋ね、とすれば、自信のなさから受け身で対応している者も多いと感じることがある。振り返りが表面上のことばでまとめられ、次の実践に繋がらないこともある。議論や司会進行に積極的にチャレンジすることも必要だと考える。
									保育指導計画、各会議、個別支援等において、保育者一人ひとりの振り返り、クラスとしての連携を重点に話し合い、まとめた資料は会議の1W前に提出し、園長から事前の確認やアドバイスがある。(各クラスの内容も全スタッフに周知されている。)
		○			○	○			現状把握、計画、実施、点検の基本が身につけていない。 上司の助言をもらいながら取り組んでいる。
		○						○	OJTや園内研修でシュミレーションを取り入れ、自己を振り返り実践の改善に努めている。
合計	A-3 保育の質の向上 1細目中 計	1	0	0					
合計	領域A 20細目中 計	20	4	0					
合計	全評価細目65細目中 計	65	6	0					

・振り返りをし、それを言葉にし、実践に繋げていく。  
・議論や司会進行に積極的にチャレンジすることも必要だと考える。